TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE® UNIFIED DATA PROTECTION

Arcserve[®] Unified Data Protection v6

クラウド ストレージへの ファイルコピー/アーカイブ 設定ガイド

2016年6月

REV: 1.0



1.	はじめに	. 1
2.	WINDOWS AGENT を利用したクラウドストレージへのファイルコピー	. 4
3.	WINDOWS AGENT を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ	. 9
4.	WINDOWS AGENT を利用したクラウド ストレージからのリストア	13
5.	UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー	16
6.	UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイル アーカイブ	26
7.	UDP コンソールを利用したクラウドストレージからのリストア	32
8.	製品情報と無償トレーニング情報	33

変更履歴:

2016年6月作成

注意:この資料は2016年5月16日時点の製品をもとに記述しています

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本資料は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。 Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙 示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。 Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、 このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた 場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright © 2016 Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

1. はじめに

Arcserve[®] Unified Data Protection (以降 UDP と表記) は、非常に「簡単」かつ「手頃」なディスク ベースのシステム保 護ソリューションです。小規模環境から大規模環境まで、バックアップ要件に応じて必要十分は標準機能を多数搭載し データ保護・災害対策・業務継続といった多様なニーズに対応できる製品です

本資料では、オンプレミス上に保管したイメージ バックアップデータから自動的にファイルを抽出し、クラウドストレージにファイル単位でコピー/アーカイブするための設定手順を説明します。

最新のクラウドストレージ対応環境は動作要件 [クラウド サービス (ファイル コピー)]を参照してください。 https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/204760116#21

本資料では、Amazon S3 と Microsoft Azure のクラウドストレージをコピー/アーカイブ先として利用するための 設定例を説明します。

1.1. コピーとアーカイブの違いについて

コピー処理では多重化したいファイルをクラウドストレージにコピーするので、災害発生時にはダウンロードして すぐにファイルを利用することができます。アーカイブ処理ではクラウドストレージにファイルを移動するのでオ ンプレミス サーバのストレージ空き容量を増やすことができます。アーカイブでは移動されたソース ファイルを アーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル(スタブファイル)に置き換えます。

スタブファイルの記載例

1.2. 本資料で説明するコピー/アーカイブ手順の種類

ファイルコピー/アーカイブはUDP Windows Agentだけがインストールされたサーバでも、コンソールや復旧ポイントサーバで統合管理されている環境のどちらでも設定することができます。本書では以下の4種類の設定手順を説明します

(1) Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルコピー



① バックアップ対象サーバをNASにバックアップ

② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー

(2) Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ



- ① バックアップ対象サーバをNASにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー
- ③ ソースファイルをアーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル(スタブファイル)に置き換え

(3) UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー



- ① バックアップ対象サーバを復旧ポイントサーバにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー
- (4) UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ



- ① バックアップ対象サーバを復旧ポイントサーバにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー
- ③ ソースファイルをアーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル(スタブファイル)に置き換え

2. Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルコピー

ファイルコピー/アーカイブ機能はバックアップデータからファイルを抽出します。本資料では新規にバックアップを取得し クラウドストレージに ファイルコピーする方法を説明します。すでにバックアップ取得済の場合は、2.2. [ファイルコピー 設定] - [ソース] 設定手順から読み進めてください。

2.1. [設定] - [バックアップ設定]

① タスクメニューより [設定] をクリックします。



 ② [保護設定] - [バックアップ先] で、オンプレミス上でのバックアップデータの保存先を指定します。本資料では [¥¥NAS¥Share] 共有フォルダをバックアップ先として指定します。

設定					
 「ックアップ設定 保護設定 	保護設定				^
③ スケジュール	▽ バックアップ先				
SM 1101版 SM バックアップ実行前/後(ファイルのバックアップ先を選択してく	ださい。			
▲ 🔀 ファイル コピー設定	\\NAS\Share		*	参照	
器 ソース ▲ デスティネーション	バックアップ先が変更されたので、次の	バックアップの種類を選択してください。			- 1
■ スケジュール	・ フルバックアップ	○ 増分バックアップ			
▲ 🔀 ファイル アーカイブ設定					_
	▽ バックアップ ソース				
 					
図 スクシュール ▲ 図 復旧ポイントのコピー	○ 選択したボリュームのバックアップ				

バックアップ先以外のデフォルト設定は以下となります。必要に応じこれらの設定を修正します。

バックアップの種類 : 増分バックアップ		
バックアップ対象(ソース):全てのボリューム		
バックアップスケジュール : 毎日 PM 10:00		
圧縮:標準圧縮		
暗号化:なし		

2.2. [ファイルコピー設定] – [ソース] 設定

 ファイルコピーを有効化します。[ファイルコピー設定] - [ソース]を選択し、[ファイルコピーを有効にする]をク リックします。

設定	
4 ふ バックアップ設定 日 保護設定	✓ ファイルコピーを有効にする
🔯 スケジュール	▽ 御日ポイントのタイプ
🚳 拡張	● 選択したバックアップの種類からファイルをコピー
📉 バックアップ実行前/後	□ 日次バックアップ
🔺 🌃 ファイル コピー設定	□ 週次バックアップ
ス	□ 月次バックアップ
昔 デスティネーション ③ スケジュール	○ ファイルのコピーの間隔: バックアップ
🔺 🔣 ファイル アーカイブ設定	▽ ファイルコヒー ソース
器 ソース 査 デスティネーション 図 スケジュール	各ファイル コピー設定には、ソース フォルダおよびオプションのファイルフォルダ フィルタがあります。ファイルフォルダ フィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも 1 つのフィルタを満たす場合、ファイルはデスティネーションにコピーされます。

② [復旧ポイントのタイプ]を設定します。本資料ではバックアップ後に毎回ファイルコピーを行うよう [ファイルコピーの間隔] に「1」を指定します。次に[追加]をクリックしコピー対象ファイルの抽出設定を行います。

※ この設定で「3」を指定した場合、3回バックアップか実行された後ファイルコヒーか実行さ
--

設定				
4 5 バックアップ設定 日 保護設定	☑ ファイル コピーを有効にする			
🛃 スケジュール	▽ 復日ポイントのタイプ			
🚳 拡張	○ 選択したバックアップの種類からファイルをコピー			
📉 バックアップ実行前/後	□ 日次バックアップ			
4 🌇 ファイル コピー設定	□ 週次バックアップ			
🔠 ソース	日本ビックアップ			
査 デスティネーション 図 スケジュール	● ファイルのコピーの間隔: 1 バックアップ			
🔺 🔀 ファイル アーカイブ設定	▽ ファイル コヒー ソース			
 器 ソース 各ファイル コピー設定には、ソース フォルダおよびオブションのファイル/フォルダ フィル デスティネーション マァイルフォルダ フィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも1つのフィ スケジュール 合、ファイルはデスティネーションにコピーされます。 				
▲ 1000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 200	パス フィルタ			
🔺 🚰 環境設定				
🛃 一般	追加			
🔤 電子メール アラート				
🔁 更新	利除			
	愛車			

③ [ファイルコピーソース] に抽出対象のフォルダを指定します。

ファイルソースを追加	×
ファイルコピーソース 各ファイルコピー設定には、ソースフォルダおよびオブションのファイルフォルダフィルタがあります。ファイル フォルダフィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも1つのフィルタを満たす場合、ファイルはデスティ テーシューンニュピーされます。	
C:\Documents and Settings\Administrator\Documents # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	

④ [ソース フィルタ] にコピー対象のフィルタ設定を指定すると、フィルタ条件に合致したファイルが指定フォルダからコピーされます。本資料では [ファイルコピー ソース] 内のすべてのファイルを抽出対象として指定します。特定の文字列を含むファイル名や拡張子で抽出することもできます。2回目以降のバックアップでコピー対象ファイルに更新があった場合は、ブロックレベルの増分データだけがクラウドストレージにコピーされます。

包含 🔹 ファイルパター: 🔻	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
種類 変数 値	(カスタム フィルタの追加にはこれを選択)
	すべてのファイル (*,*.*)
	オーディオ ファイル (*.wav;*.mp3;*.rm;*.ram;*.rma;*.wma;)
	実行可能ファイル (*.exe;*.com;*.sys;*.dll;*.ocx;*.386;*.vxd;*.cmd;*.vbs
	ヘルプ ファイル (*.hlp;*.chm;)
	Hyper-V ファイル (*.vhd;*.avhd;*.vsv;)
	画像ファイル (*.jpg;*.jpeg;*.bmp;*.gif;*.png;*.tiff;*.tif;*.mdi;*.eml;*.jfif)
	インターネット ファイル (*.css;*.dlm;*.323;*.htm;*.html;)
	Office ファイル (*.txt*.rtf.*.doc:*.xls:*.ppt.*.pps:*.docx:*.xlsx:*.pptx:*.p
	SQL ファイル (* sdf * sql * sqlce * bcp * dri * ftx * idx * ldf * mdx * ndf *
	一時ファイル (* tmp:* temp:)
	ビデオ ファイル (* avi* mpg.* rmvh* rm* wmv* wm** wmv* swf* m
	VMware $\Box = A \parallel f $ vmyar* vmac* vmbar* vmt* vmtm* vmt*
	[21] 2 [7] 7 [7] (.NZ, .NZZ, .YZ, .CdD, .IIIIY, .ISU, .IZII, .IdI, .IdZ, .IDZ, .IDZ

⑤ 設定完了後 [OK] をクリックします。 ^{20 ファイル (*}

ファイル コピー 各ファイル コピー フォルダ フィ ネーションに	ー スを追加 ー ソース コピー設定には、 イルタはコピーされ コピーされます。	ノース フォルダま 1る情報を決定し	らよびオプションのファイル/フォルダ フィル ます。少なくとも 1 つのフィルタを満たす場	タがあります。ファイル/ 合、ファイルはデスティ
C:\Docum	ents and Settings\/	Administrator\Do	cuments	調卷
ノース フィル ノース フィル み適用されま	な レタを使用すると、 Eす。 マンファイ	コピー対象を指 ルパター: ▼	定して制限できます。これらのフィルタは、 すべてのファイル(**.*)	指定した対応ソースにの
種類 包含	変数 ファイルノ ターン	値 (すべてのフ	₹ {]b (*;*,*)	追加
ファイルファ	ォルダ パターンに(はワイルドカート	文字 ** および ?? を使用できます	

- 2.3. [ファイルコピー設定] [デスティネーション] 設定
 - コピー先クラウドストレージの接続設定を指定します。[ファイルコピー設定] [デスティネーション] を選択し、 [クラウドへのファイルコピー] 選択後、[設定] ボタンをクリックします。

設定				
 バックアップ設定 保護設定 スケジュール 筋張 	 ▽ デスティネーション データのコピー先を指定します ローカルまたはネットワーク ドライブへのファイル コピー 			^
 ハックアッノ実行前/彼(マテイル コピー設定 ファイル コピー設定 ファイルーマ デスティネーション スケジュール 	 クラウドへのファイルコピー 設定 	*	参照	

 "Amazon S3"に接続するための [アクセスキーID] と [アクセスキー] を入力します。[ストレージサービス] として [Amazon S3] を選択すると"S3.amazonawas.com" に接続します。

※ [Azure ストレージ] を利用する場合は次ページの <Azureストレージへの接続設定例> を参照します。

クラウド環境設定		×
ストレージ サービス	Amazon S3	•
★続設定 アクセスキー ID	ARCSERVEUDPV6WINDOWS	
シークレット アクセス		
	ſŁ	[接続テスト]をクリックすると既存のバケットが読み取
「振展」	arcserve-win-console-arcserve_japan1 👻 😕	られ、[バケット名]のドロップダウンリストに表示され
バケットの地域	[更新]をクリックすると、既存の)ハラットかロードされます AP_Tokyo	ます。保存先に指定するハケットをリストから選択するか、[追加]ボタンをクリックして新規に作成するバケッ
	^{72円かルに373} 総行スト OK キャンセル ヘルブ	ト名を入力します

<Azure ストレージへの接続設定例>

Azureストレージへ接続設定では [ストレージサービス] として[Windows Azure]を選択し、

Azure ストレージの [アカウント名] と [シークレットキー] を入力します。

※ 下図の設定例では" http://ARCSERVEUDPV6.blob.core.windows.net"に接続します。

クラウド環境設定	×
注: 通常は、クラウド上の場所へ (またはそこから) のファイル コピー ジョブは、ディスクまたはネットワーク共 有へ (またはそこから) のファイル コピー ジョブより遅くなります。	
- ストレージ サービス	
ストレージ サービス Windows Azure ▼	
接続設定	
アカウント名 ARCSERVEUDPV6	
シークレット キー	[接続テスト]をクリックすると、既存のバケットが読み
- □ プロキシの有効化	取られ [バケット名] のドロップダウンリストに表示され
	ます。保存先に指定するコンテナをリストから選択する
拡張	か、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するコンテ
コンテナ 「更新]をクリックして既存のコンテナをロードします	ナ名を入力します
接続テスト 0K キャンセル ヘルブ	

③ 本資料では、その他の [デスティネーション]設定はデフォルトのまま進めます。

ファイル保存期間 - (設定	保持] はデフォルトで「15」に設定され、対象ファイルを過去15世 ⁴	代まで保持します ^{図 ×}
 バックアップ設定	 クラウドへのファイル コピー 読定 	^
📉 バックアップ実行前/後	▽ 圧縮を有効にする	
▲ N ファイル コピー設定 ソース	圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	
📋 デスティネーション	標準 ▼	
ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう		
▲ M ファイル アーカイブ設定 M ソース	▽暗号化	
■ デスティネーション	警告: この暗号化パスワードを忘れないように、保存しておくことが重要です。このパスワードがないと、 コピーされたデータの回復ができなくなるため、設定した暗号化パスワードを正確に記憶しておく必要が あります。	
▲ 100 復旧ポイントのコピー	□ 暗号化の有効化	
	暗号化パスワード	
 −般 電子メール アラート	パスワードの確認	
🔁 更新		
	▽ ファイル保存期間	
	 ● 保持 15 最新のファイルコピー 	
>	○ 次の期間にコピーされたファイルを保持:過去	~
	設定の保存 キャンセル ヘル	7

2.4. [ファイルコピー設定 - スケジュール]

デフォルトでは [復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー]が選択され、バックアップ完了後すぐにファイルコピーが実行されます。ファイルコピーを実行する時刻や曜日を指定するには [スケジュール通りにコピー]を選択します。最後に [設定の保存] をクリックしバックアップ運用を開始します。

設定			o x
▲ 🋃 バックアップ設定			
📋 保護設定	▽ スケジュール		
🔞 スケジュール	ファイルをコピーする	● 復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー	
◎ 拡張		○ スケジュール通りにコピー	
📉 バックアップ実行前/後			
🔺 🌇 ファイル コピー設定			
ス			
📋 デスティネーション			
😡 スケジュール			
🔺 🔀 ファイル アーカイブ設定			
📩 デスティネーション			
🚳 スケジュール			
▲ 🔣 復旧ポイントのコピー			
🚵 コピー設定			
4 🚰 環境設定			
🛃 一般			
🔤 電子メール アラート			
₩ 更新			
			~
< >			
		設定の保存キャンセ	ルヘルプ

3. Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ

本書では [バックアップ設定] は設定済の前提でアーカイブの設定手順を説明します。

3.1. [ファイルアーカイブ設定] - [ソース] 設定

 ・ 画面左の設定メニューから [ファイルアーカイブ設定] - [ソース] を選択し[ファイルアーカイブの有効化] をクリックします。次にアーカイブ(移動)ファイルの抽出対象フォルダを指定する為 [追加] をクリックします。

設定		
▲ 込 バックアップ設定	☑ ファイル アーカイブの有効化	^
🚯 スケジュール	▽ ファイル アーカイブ ソース	
 ◎ 拡張 ▲ バックアップ実行前/後 ▲ ろ ファイル コピー設定 	各ファイル アーカイブ設定には、ソース フォルダおよびオブションのファイル/フォルダ フィルタがあり ます。ファイル/フォルダ フィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも 1 つのフィルタを満たす 場合、ファイルがデスティネーションにコピーされます。	r
ふ ソース デスティネーション スケジュール ファイル アーカイブ設定 ソーマ	パス フィルタ 道加	F
■ デスティネーション	and:	
図 スケンユール ▲ 製 復旧ポイントのコピー 自 コピー設定 ▲ 型 環境設定	変更	
- Martin AL		

② [ファイル アーカイブ ソース]欄に抽出対象フォルダをフルパスで入力します。

ファイル ソースを追加	×
ファイル アーカイブ ソース 各ファイル アーカイブ設定には、ソース フォルダおよびオブションのファイル/フォルダ フィルタがあります。ファ イル/フォルダ フィルタはコビーされる情報を決定します。少なくとも 1 つのフィルタを満たす場合、ファイルがデス ティネーションにコピーされます。	^
C:\Users\Administrator\Documents 参照	

 ③ [ソース フィルタ] にアーカイブ対象のフィルタ設定を指定します。本資料では [ファイル アーカイブ ソース] 内の 全ファイルを抽出対象として指定します。フィルタ条件に合致したファイルは指定フォルダからアーカイブされ、ソ ースファイルがスタブファイルに置き換えられます。

包含 マ ファイルパター: マ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
種類 変数 値	(カスタム フィルタの追加にはこれを選択)
	 第二フィインティンレ(*.wav,inp3, .init, .tain, .inita, .wina,) 実行可能ファイル(*.hlp;*.chm;) Hyper-V ファイル(*.hlp;*.chm;) Hyper-V ファイル(*.yp;*.jpeg;*.bmp;*.gif;*.png;*.tiff;*.tif;*.mdi;*.eml;*.jfif) インターネット ファイル(*.css;*.dlm;*.323;*.htm;*.html;) Office ファイル(*.txt;*.tf;*.doc;*.xls;*.ppt;*.pps;*.docx;*.xlsx;*.pptx;*.p SQL ファイル(*.sdf;*.sql;*.sqlce;*.bcp;*.dri;*.ftx;*.idx;*.ldf;*.mdx;*.ndf;*.eml;*.jfif) ー時ファイル(*.txt;*.tf;*.doc;*.xls;*.ppt;*.mv;*.wm;*.wmx;*.swf;*.m VMware ファイル(*.twp;*.temp;) ビデオ ファイル(*.vmxa;*.vmac;*.vmba;*.vmt;*.vmt;*.vmx;*.swf;*.m VMware ファイル(*.txt;*.tmp;*.rmvb;*.rm;*.vmx;*.swf;*.m

④ 設定完了後 [OK] をクリックします。本資料では [ファイル サイズ フィルタ] や [ファイル経過期間フィルタ]は設定していません。抽出対象ファイルをサイズや経過期間でフィルタする場合は必要に応じ指定します。

ファイルソ	ースを追加	×
ファイル アー た 各ファイル フ イル/フォルタ ティネーショ	1イブ ソース マーカイブ設定には、ソース フォルダおよびオプションのファイル/フォルダ フィルタがあります。ファ ダフィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも 1 つのフィルタを満たす場合、ファイルがデス ンにコピーされます。	^
C:\Users\A	Administrator\Documents 参照	
ソース フィル ソース フィル み適用されま	₹ レタを使用すると、コピー対象を指定して制限できます。これらのフィルタは、指定した対応ソースにの ます。	
包含	 ▼ ファイルパター: ▼ すべてのファイル(***) 	-
種類	変数 値 给加	
包含	ファイルパ すべてのファイル (*;*.*)	
ファイルファ 	サルダ パターンにはワイルドカード文字 ** および ?? を使用できます (フィルタ (ズ フィルタを使用すると、ファイルのサイズに基づいてコピーするソース データを指定および制限でき サイズによるフィルタ	
	• MB •	
ファイル経過 り ファイル経過 限できます。	明問フィルタ 期間フィルタを使用すると、ファイルの経過期間に基づいてコピーされるソース データを指定および制	
	OK キャンセル ヘルブ	

- 3.2. [ファイル アーカイブ設定] [デスティネーション] 設定
 - アーカイブ先のクラウドストレージへの接続設定を指定します。 [ファイル アーカイブ設定] [デスティネーション] を選択し [クラウドへのファイルコピー] を選択した後、 [設定] ボタンをクリックします。

設定		E
 ・ ・ ・	▽ デスティネーション データのコピー先を指定します	
◎ 拡張 【 バックアップ実行前/後 】 ファイル コピー設定	 ローカルまたはネットワーク ドライブへのファイル コピー 	
品 ソース 首 デスティネーション 國 スケジュール	 クラウドへのファイル コピー 設定 	
🐹 ファイル アーカイブ設定 🚜 ソース	▽ 圧縮を有効にする	
	圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	

 "Amazon S3"に接続するための [アクセスキーID] と [アクセスキー] を入力します。[Amazon S3] を選択する と"S3.amazonawas.com" に接続します。

※ [Azure ストレージ] を利用する場合は次ページの <Azureストレージへの接続設定例> を参照します。

クラウド環境設定		×
ストレージサービス	Amazon S3 👻	
一接続設定		
アクセスキーID	ARCSERVEUDPV6WINDOWS	
シークレット アクセス キー		
	<u>الله المعامة ا</u>	
		[接続テスト]をクリックすると既存のバケットが読み取
バケット名	arcserve-win-console-arcserve_iapan1 👻 途 🧶	られ、 [バケット名] のドロップダウンリストに表示され
	[更新]をクリックすると、既存のバケットがロードされます	ます。保存先に指定するバケットをリストから選択する
バケットの地域	AP_Tokyo	- か、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するバケッ
□ 低冗長化ストレージ	ジを有効にする	ト名を入力します
接	続テスト OK キャンセル ヘル	NJ

<参考: Azure ストレージへの接続設定例>

Azureストレージへ接続設定では [ストレージサービス] として[Windows Azure]を選択し、Azure ストレージの [アカウント名] と [シークレットキー]を入力します。

※ 下図の設定例では" http://ARCSERVEUDPV6.blob.core.windows.net"に接続します。

クラウド環境設定	×
注: 遺常は、クラウド上の場所へ(またはそこから)のファイル コピー ジョブは、ディスクまたはネットワーク 有へ(またはそこから)のファイル コピー ジョブより遅くなります。	^件 へ
- ストレージ サービス	
ストレージ サービス Windows Azure ▼	
- 接続設定	
アカウント名 ARCSERVEUDPV6	
シークレット キー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[接続テスト]をクリックすると、既存のバケットが読み
- □プロキシの有効化	取られ [バケット名] のドロップダウンリストに表示され
	ます。保存先に指定するコンテナをリストから選択する
	か、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するコンテ
コンテナ 「更新」をクリックして既存のコンテナをロードします	ナ名を入力します
接続テスト OK キャンセル ヘルプ	

③ 本資料では [保存期間] はデフォルトのまま設定します。 この設定ではアーカイブされたファイルは4年間クラウド ストレージに保持されます。

パックアップ設定	設定	
🚳 スケジュール	▽ 圧縮を有効にする	
◎ 拡張	圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	
、バックアップ実行前/後		
No. 10 12 - 設定	標準	
アメディネーション マケジョーリ	▽暗号化	
◎ スクシュール	警告・この暗号化パスワードを忘れないように、保存しておくことが重要です。このパスワードがないと	
	コピーされたデータの回復ができなくなるため、設定した暗号化パスワードを正確に記憶しておく必要が	
·····································	めりより。	
🚳 スケジュール	□ 暗号化の有効化	
🕃 復旧ポイントのコピー	暗号化パスワード	
📋 コピー設定		
	バスワートの増加る	
₽ 環境設定		
🚰 環境設定 🔇 一般	·	
 環境設定	□ (2方10月)	
 2 環境設定 マー股 図 電子メール アラート ■ 更新 	▽ 保存期間	
✔ 環境設定 ● 一般 ■ 電子メール アラート ■ 野新	▽ 保存期間 保存データがデスティネーションで保持される期間を指定します。この保存期間が経過する と、保存データはデスティネーションからパージされます。この処理は、「ファイル・コピー・	
○ 環境設定 ● 一般 ■ 電子メール アラート ■ 更新	▽保存期間 保存データがデスティネーションで保持される期間を指定します。この保存期間が経過する と、保存データはデスティネーションからパージされます。この処理は、「ファイル コピー・ ソースの削除プラン1を使用してコピーされた(移動した)データにのみ適用されます。	
○ 環境設定 ● 一般 ■ 電子メール アラート ■ 更新	 ○ 保存期間 保存データがデスティネーションで保持される期間を指定します。この保存期間が経過すると、保存データはデスティネーションからパージされます。この処理は、[ファイルコピー・ソースの削除プラン]を使用してコピーされた(移動した)データにのみ適用されます。 4 ⇒ 年 0 → か月 0 → 日 	
 ○ 環境設定 ○ 一般 ○ 電子メールアラート ○ 更新 	 ○ 保存期間 保存データがデスティネーションで保持される期間を指定します。この保存期間が経過すると、保存データはデスティネーションからパージされます。この処理は、[ファイル コピー・ソースの削除プラン]を使用してコピーされた(移動した)データにのみ適用されます。 4 ▼ 年 0 ▼ か月 0 ▼ 日 	

3.3. [ファイル アーカイブ設定 – スケジュール]

 ファイル アーカイブを実行するスケジュールを指定します。ここで指定した時刻と繰り返し間隔に従って [ファイ ル アーカイブ] が実行されます。[スケジュール] 指定の完了後、[設定の保存]をクリックし運用を開始します。

設定		
 ▲ ▲ バックアップ設定 ● 保護設定 ● スケジュール ● 拡張 ▼ パックアップ実行前/後 	マ スケジュール ファイルをコピーする ファイル コピー スケジュールの種 ● 毎日 ○ 毎月 類	î
 ▲ ○ ファイル コピー設定 品 ジレース 査 デスティネーション 図 スケジュール ▲ ○ ファイル アーカイブ設定 品 ソース 合 デスティネーション 	開始時刻 20 20 20 20 20 20 20 20	
 ③ スケジュール ▲ ② 復日ボイントのコピー 画 コピー設定 ▲ ② 環境設定 ④ 一般 図 電子メール アラート ■更新 		
<	設定の保存 キャンセル	ער דער

4. Windows Agent を利用したクラウド ストレージからのリストア

4.1. [設定] - [リストア]

① タスクメニューより [リストア] をクリックします。

ナビゲーション	**
タスク	
💽 今বংগেগ্যস্গ্র	
📋 ሀגኮፖ	
💦 設定	
() 復旧ボイントのコピー	
🧾 復旧ボイントのマウント	
🐱 ログの表示	

② リストア方式として [ファイルコピーの参照] を選択します。

ሀストア	×
リストア方式を選択してください。	~
復旧ポイントの参照 毎日ポイントを参照して選択します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル、フォル タまたはアプリケーションを回復するには、このオブションを使用します。	
ファイル コピーの参照 デスティネーション(ディスク/クラウド)を参照します。次に、リストアするデータを選択しま す。ファイル/フォルダを回復するには、このオプションを使用します。	
Q リストアするファイル/フォルダの検索 バックアップおよびファイル コピーからリストア対象ファイルフォルダを検索します	
VM の復旧 リストア対象として仮想マシン全体を選択します	
Microsoft Exchange データのリストア 予定、連絡先、電子メールメッセージ、タスクなどの Exchange データをリストアします。 Exchange データのリストア手順については、Arcserve ナレッジセンターを参照してください。	
Active Directory のリストア	~
キャンセル	5

③ 保存先のバケットが複数ある場合はリストア対象のバケット(またはコンテナ)をドロップダウンリストから選択し ます。1つしかない場合は自動的にバケットに接続されます。

リストア			×
リストアするファイル リストにあるファイルコピ 以下から、リストアするフ	レコピーの選択 ーの場所からリストアするか、または (追加) をクリックして ァイルとバージョンを選択してください。	「リストにない場所を選択しま	द .
ファイルコピーの場所:	[local,FileCopy]:arcserve-udpv6-agent-copy2cloud	- 追加	

④ ツリーを展開しリストア対象のファイルを選択します。選択後 [次へ] をクリックします。
 変更世代を持つファイルはツリー内に世代数が表示され、選択すると右ペインにリストア可能な過去世代がリスト表示されます。

ケイルコピーの場所:	[local,FileCopy]:arcserve-udpv6-ag	ent-copy2clou	d	▼ 追加	
ノードからのファイル 二 名前	ピー : UDPV6-AGENT	バージョ ン	更新日時	サイズ	
 Image: Constraint of the second second		1	2016/04/22 20:20:25	23 バイト	
4 🛛 🗋 Administr	ator	∎2	2016/04/22 21:01:25	41 バイト	
 Z Docur Z Docur Z Docur 	nents st1.txt(1)	∎3	2016/04/22 21:03:16	59 バイト	
🗖 📄 te	st2.txt(1)				
📕 📄 te	st3.bxt(3)				
	前に定ろ	X		-12/2/12/16	A117

⑤ 必要に応じ [リストア オプション] を指定します。ここではデフォルト設定のまま [次へ] をクリックします。

⋷スティネーション	
ストア先を選択します。 ● 元の場所にリストアする	
	40.00
)別の場所にリストアする	9 9 %
遺合の解決 遺合の解決方法の指定	ディレクトリ構造 リストア中にルート ディレクトリを作成するかどうかを指定します。
○ 既存ファイルを上書きする	□ ルートディレクトリを作成する
🗌 アクティブ ファイルを置換する	
○ ファイル名を変更する	
◉ 既存ファイルをスキップする	

⑥ [リストア サマリ] の内容を確認し [完了] をクリックします。

受定が正しいことを確認した後	、[完了] をクリックしてリストア プロセスを開始します。	
リストアするファイル		
名前	バス	サイズ
test3.txt	C:\Users\Administrator\Documents	23 バイト
デスティネーション 元の場所にリストアする 競合の解決		
アクティブ ファイルを置換する: いいえ		
-9.1 61.114#54		
テイレクトリ構成		

5. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー

コンソールでファイルコピー/アーカイブ機能を利用するには、バックアップタスクを含む[プラン] に [ファイル コピー] タスクを追加します。すでにバックアップ取得済の場合は、「5.2 [ファイル コピー] タスクの追加」から読み進めてく ださい。

5.1. 新規プランの作成と [バックアップ タスク] の追加

① [リソース] - [すべてのプラン] - [プランの追加]と順にクリックし、新規プランの作成を開始します。

	≪ プラン:	すべてのプラン			
▲ ノード	abs.				
すべてのノード		5 55 67.254			
プランのないノード		プラン名		保	浅ノート
▷ vCenter/ESX グループ			合計	0	0
▷ プラン グループ					
▲ デスティネーション		ローカルリュトー新規のフラフ	1.	0	10
復旧ポイント サーバ					
Arcserve Backup サーバ					
共有フォルダ					
クラウド アカウント					
▲ プラン					
すべてのプラン	4				
⊿ インフラストラクチャ					
ストレージ アレイ					
インスタント VM					

② [プラン名] と [タスクの種類] を指定します。本資料では任意の [プラン名] として「ファイルコピー」と入力し、
 [タスクの種類] として [バックアップ:エージェントベース Windows] を選択します。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加	ファイルコピー □ このプランを一時停止	保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 ドックアップ: エージェントベース Windows 🗸	
● タスクの追加	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
製品のインストール	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	□ ノ~ K名 VM 名 ブラン	

③ [ノードの追加]をクリックし、バックアップ対象ノードを追加します

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設定 ハイ	(アベイラビリティ
プランの追加	771มาย่า	日このプランを一時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ:エージェントベース W	ndows
 タスクの追加 	<u>ソース</u> デスティネーション スパ	ケジュール 拡張
製品のインストール	④ノードの追加 剤除	
	Arcserve UDP で保護するノードの選択 Windows ノードの追加	752
	Active Directory からのノードのディスカバリ	

④ ノードが追加されたことを確認します。

ダッシュボード リソース ジ	ヨブ レポート ログ	設定 / ハ	אר דילאנייי	
プランの追加	<i>ว</i> ⊽1ル⊐ピ−		□ このプランを-	→時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックア	ップ: エージェントベース	Windows	
 ● タスクの追加 	<u> ソース</u> デスラ	ন্দ্র-১৭০	スケジュール 拡張	
製品のインストール	⊕ノードの追加	削除		
	Udpv6-æent	VM 名	752	
	保護タイプ	্ৰ ব	℃のポリュームのパックアップ	 選択したボリュームのバックアップ

⑤ バックアップ先を指定するため [デスティネーション]をクリックします。本資料では例として復旧ポイントサーバ [RPS]のデータストア[DataStoreM]をバックアップ先に指定します。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設気	E ハイアペイラビリティ	
プランの追加	ファイルコピー	日このプランを一時停止	ħ
タスカ1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ: エー:	ジェントベース Windows	
◆ タスクの追加	ソース デスティネー	ション スケジュール 拡張	
製品のインストール	デスティネーションの種類 復旧ポイント サーバ データ ストア	 ローカル ディスクまたは共有フォルダ Arcser ve UDP 復日ポイン RPS DataStoreM 	<i>י</i> トサーバ
	パスワードによる保護 セッション パスワード		
	セッション パスワードの確認		

⑥ [スケジュール] をクリックしバックアップ スケジュールを設定します。本資料ではデフォルトの毎日22:00に
 増分バックアップするスケジュールを使用します。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設定	ለተ ፖベ1	イラビリティ						
プランの追加	7711122-		🗆 อดรรม	を一時停」	È		粐		キャンセル
タスカ1: パックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 バックアップ: エージェン	トベース Windows		*					6
● タスクの追加	ソース デスティネーショ	ひ スケジュー	ール 拡張	R.					
製品のインストール	復旧ポイントの保存方法	復旧ポイントによ	る保持			•			
	●追加 削除								
	タイプ 説明			a % ∕ ✓	ж ✓	*	金 ~	± ✓	時刻 22:00
	スケジュールされたバックアップの開始時刻	2016/05/18	1 <u>1</u>	18 👻	: 08	×			
	復旧ポイントの保存	日ンケバックアップ			7				
		週次バックアップ							

5.2. [ファイル コピー] タスクの追加

① 作成済のバックアップ用[タスク1] に [ファイル コピー]タスクを追加するため [タスクの追加] をクリックします。

プランの追加	771ルコピー			□このプランを一時停止	保存
タスク1: パックアップ: エージェント ペース Windows	タスクの種類	バックアップ: エージェン	トベース Windows	T	
● タスクの追加	ג-ע	デスティネーショ	ン スケジュー	レ <u>拡張</u>	
製品のインストール	復旧ポイントの作	呆存方法	復日ポイントによる	保持	-

② [タスクの種類] で [ファイル コピー] を選択します。

ダッシュボード リソース ジ	ョブ レポート	・ ログ 設定 ハイアベ	イラビリティ
プランの追加	7ァイルコピー		□このプランを一時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント 📀 ベース Windows	タスクの種類	 	-
タスク2	1	レククラート 仮想スタンバイ ファイル コピー ファイル アーカイブ	
 タスクの追加 		復旧ポイントのコピー リモート管理の RPS ヘレプリケート テーブへのコピー	
製品のインストール			

③ [復旧ポイントのタイプ] で ファイルコピーを実行するスケジュールを指定するか、コピーの実行間隔を指定します。
 ここでは例として [バックアップ]毎にファイルコピーを実行するため [ファイルのコピー間隔] を「1」に設定します。

ダッシュボード リソース	5	ョブ レポート	ログ	設定 /	ላ ፖベイラビリティ		
プランの追加		7711122-			□ このプランを-	→時停止	保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	0	タスクの種類	ファイルコと	<u>.</u>			
<u> </u>		ソース	デスティ	ネーション	スケジュール		
 タスクの追加 		ファイル コピー用	の復旧ポイント	ソース	タスク1: バックアップ: エージ	ェントベース	Windows
		復日ポイントのタ	ひょう		○ 選択したバックアップの	重類からファイ	イルをコピー
製品のインストール					◉ ファイルのコピーの間隔	1	バックアップ
	-	⊕ע-גו	2の追加	(1096)			
		📃 Y-2 741	ra	بال- بال			

④ コピーするファイルの抽出対象フォルダを指定するため [ソースパスの追加]をクリックします。

プランの追加		7ァイルコピー		□ このプランを一日	寺停止 保存
タスク1: パックアップ: エージェント ベース Windows	•	タスクの種類	77111 วย-	*	
タスク2 ファイル コピー		ソース	デスティネーション	スケジュール	
● タスクの追加		ファイル コピー用 復日ポイントのタ	の復日ポイント ソース イブ	タスク 1: バックアップ: エージェ) 〇 選択したバックアップの種類	ットベース Windows 頃からファイルをコピー
製品のホットール				 ファイルのコピーの間隔: 	1 バックアップ

 ⑤ [ソース フォルダ] 欄に抽出対象フォルダのフルパスを入力し、[フィルタの追加]をクリックしてファイルの抽出ル ールを指定します。本資料では例として抽出対象の [ソース フォルダ] に「C:¥Data」を入力し、フィルタ設定で 「C:¥Data」以下の全データを対象にする[すべて(*.*)] を指定します。設定完了後 [OK] をクリックします。

	1 3007474	タを満たす場合、フ	ファイルはデフ	ティネーションにコピーされます。	
スフォルダ c:¥D	ata				
注: す^	てのシステム	_→ ファイル/フォルダ()	はスキップされ	はす。	
⊕フィルタの追加	NUNE -				
]					
ファイルの種類	-	次と等しい	~	すべて (*; *,*)	-
) 注: D太と等し、ない1/D	大を含まない]パターンは、D次と	<u>、等しい]/ぴ</u> /	を含む] よりも優先されます。	
) 注: D大と等しくない1/D	大を含まない] //ターンは、D大と	(等しい]/ひ)	を含む] よりも優先されます。	

⑥ 抽出対象フォルダとルール(抽出条件)が画面上で追加されたことを確認します。

プランの追加	771126-		□ このプランを一日	寺停止	保存
タスカ1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 ファ	イル ⊐ピー	-		
タスク2: ファイルコピー	ソース デ	スティネーション	スケジュール		
 タスクの追加 	ファイル コピー用の復旧	ポイント ソース	タスク 1: バックアップ: エージェン	›Իベース V	/indows
	復日ポイントのタイプ		○ 選択したバックアップの種類	類からファイ	ルをコピー
製品のインストール			◉ ファイルのユピーの間隔:	1	バックアップ
	⊕ソース パスの追	bu ivec			
	■ ソース フォルダ	ıb∽ıb			
	STATE STATE	La para de			

 ⑦ [デスティネーション]をクリックし、[デスティネーションの種類] と [ストレージ サービス]を指定します。この 例では [デスティネーションの種類] として[クラウド ストレージ]を選択し、[ストレージ サービス] として [Amazon S3]を選択しています。次に[クラウド ストレージ]への接続アカウントを入力するため [追加]をクリッ クします。

ダッシュボード リソース ジョー	ョブ レポート ロブ 設定	│ 八イ アベイラビリティ
プランの追加	771มวยั-	日このブランを一時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント 🛛 🥥 ベース Windows	タスクの種類 ファイル コピー	•
\$\$\$. \$2. \$2. \$2. \$2. \$2. \$2. \$2. \$2. \$2.	ソース デスティネーショ	ョン スケジュール
 タスクの追加 	デスティネーションの種類	<i>b</i> ラウド ストレージ
製品のインストール	ストレージ サービス	Amazon S3 👻
	クラウド ストレージ	ストレージを選択または追加します 👻 追加
	☑ 圧縮を有効にする 圧縮レベル	● 標準 ○ 最大
	□ 暗号化の有効化	
	ファイル コピーの保持	●保持 15 最新のファイルコピー

⑧ [ストレージ名] として任意の名称を入力し (この例では"aws-file-copy")、接続に必要な情報 ([バケットの地域]、
 [アクセス キー ID]、[シークレット アクセス キー])を入力します。[バケット名] 欄にクラウド既存の"バケット"
 名が表示され [バケット名] が存在しない場合、入力した名称でバケットを新規作成します。[ストレージ サービス
 として[Amazon S3] が選択されている場合"S3.amazonawas.com" に接続します。設定完了後 [OK] をクリック
 します。

<u> </u>	ローカル サイト	
ストレージ名	aws-file-copy	
ストレージ サービス	Amazon S3	*
バケットの地域	AP_Tokyo	
アクセス キー ID	ARCSERVEUDP V6	×
シークレット アクセス キー		•••••
□ プロキシ サーバを使用し	て接続する フロトン活動 正	
バケット名	copy2cloud1	×
	注:バケット名の先頭には次の文字が作	すされます「arcserve-[エージェント ホスト
Amazon S3ストレージ	□ 低冗長化ストレージを有効にする	

<参考: Azure ストレージへの接続設定例>

Azureストレージに接続する際の設定例です。任意の [ストレージ名]を入力後、接続に必要な [アカウント名] と [シークレットキー] を入力し接続します。既存コンテナが存在する場合は、[コンテナ] に読み込まれ、入力した [コンテナ] が存在しない場合は新規に作成します。

41	ㅁㅡカル サイト			
トレージ名	UDPv6 File Copy			
トレージ サービス	富士通クラウド(Windows Azure)		Ŧ	
トレージ エンドポイント	https://blob.core.windows.net			
カウント名	arcserveudpv6			
ークレット キー	********			
] プロキシ サーバを使用して	接続する プロペン設定			
レテナ	udpconsole-copy	×		
	注:コンテナ名にはプレフィックスとして次の	D文字が付けられます「ar	cserve-[エージェン	•ኮ

 ⑦ ファイルコピーの保持世代数、または保存期間を指定します。デフォルトでは最新の15世代がクラウドに保持される設定となります。本資料では例として保存期間を指定し、7日以内にコピーされたファイルのみ維持するよう設定しています。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設	定 📗 ለተ ፖベイラビリティ		
プランの追加	7711126-	□このプランを一時停	Ъ£	保存 キャンセル
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	ン ソース デスティネ	ーション スケジュール		
タスカ2: ファイル コピー	デスティネーションの種類	クラウド ストレージ	-	
 タスクの追加 	ストレージ サービス	Amazon S8	-	
製品のインストール	クラウド ストレージ	aws-file-copy	– ù	助
	□ 圧縮を有効にする			
	□ 暗号化の有効化			
	ファイル コピーの保持	○保持 3 最新のファイルコピー		
		● 次の期間にコピーされたファイルを保持: う	過去 7	8 -

① [スケジュール]をクリックしファイルコピーの実行スケジュールを指定します。本資料ではデフォルトの [復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー]で設定を保存します。この設定例ではタスク1の [バックアップ エージェントベース Windows] 完了後すぐにタスク2のファイルコピーが実行されます。

ダッシュボード リソース ジョ 	ョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ
プランの追加	ファイルコピー 口 このプランを一時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント 🛛 🥥 ベース Windows	ソース デスティネーション スケジュール
ØスϦ2: ファイル コピー	ファイルをコピーする ③ 復日ポイントが生成されたらすぐにコピー
● タスクの追加	○ スケジュール通りにコピー
製品のインストール	

① ファイルコピーに必要な設定(ソースフォルダ、クラウドへの接続、バケットへのアクセス可否など)を事前に確認
 します。事前の設定確認を行うには [はい] をクリックします。

確認			
?	ファイルコピー/ファイル アーカイブタスクに対してプレフライト チェックを复 設定が確認されるため、ネットワーク帯域幅に応じて時間がかかる場合	ミ行しますか? 実行 があります。	テすると、すべての
		はい	いいえ

12 作成したプランの [展開:成功] を確認します。

ダッシュボード リソース ミ	ブョブ レポ・	-ト ロ	び 部	定	ハイアベイラビリティ			
	≪ プラン:す	べてのプ	ラン					
⊿ ノード すべてのノード	アクション	アクション - プランの追加						
プランのないノード		保護	渡ノード		ステータス			
⊳ vCenter/ESX グループ > プラン グループ	合計	0	0	0				
↓ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1	0	1	0	🕏 変更: 成功 (1)			
復日ポイントサーバ Arcserve Backupサーバ 共有フォルダ クラウドアガウント	1	0	1	0	♥ 展開: 成功 (1)			
9 (10) 757 4 インフラストラクチャ ストレージアレイ インスタント VM								

③ この設定例では毎晩22:00にバックアップとファイルコピーが実行されます。手動でプランを開始するにはプラン名の右クリックメニューから [今すぐバックアップ]を選択します。



⑭ 実行したいバックアップ種類の選択を確認し [OK] をクリックします。

今すぐバックア	ップを実行		×
◉ 増分バックアップ	,		
○検証バックアップ	ŷ		
○ フル バックアップ			
バックアップ名:	ファイルコピー		×
		ОК	キャンセル

⑤ バックアップやファイルコピーの実行結果は画面右側の [ステータス] や [最近のジョブ] で確認します。実行結果の詳細を確認するには [ログ] をクリックします。

	🚜 ノード:			≫udpv6-agent	
▲ ノード すべてのノード	アクシ	ョン・ ノードの追加	フィルタ× »・	🏟 環境設定ウィザード	
プランのないノード		ステータス ノード名	プラン	⇒ ステータス	0
▷ vCenter/ESX グループ		✓ udpv6-agent	ファイルコピー	▽ 最新のジョブ ひスク別)	
▲ プラン グループ ファイルコピー				ジバックアップ (増分) 2016/05/21 5:05:33	期間: 00:00:35
ローカル サイトー新規のプラン ▲ デスティネーション				፩ ファイル 그ピー 2016/05/21 5:06:17	期間: 00:00:51
復旧ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ				▽ 最近のイベント	ログの表示
共有フォルダ クラウド アカウント	4			 ファイルコピー バックアップ - 増分 	2016/05/21 5:06:17 2016/05/21 5:05:33
▲ プラン すべてのプラン					
▲ インフラストラクチャ					
ストレージ アレイ					
インスタント VM					
ቻ1ኑ 					

6. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイル アーカイブ

本資料では例として [バックアップ エージェントベース Windows] タスクを持つプランに [ファイル アーカイブ] タス クを追加する手順を説明します。バックアップ タスクの作成例については、「5.1 新規プランの作成と [バックアップ タ スク] の追加」を参照してください。ファイルアーカイブ機能では抽出条件に合致したファイルをクラウドストレージに コピーし、その後ソースファイルを「スタブファイル」に置き換えることでストレージ領域を解放します。

参考:スタブファイルとは?

アーカイブ先が記録されたテキストファイルで、アーカイブされたソース ファイルはスタブファイルに置き換えられます。

これは、Arcserve UDP によって作成されたスタブ ファイルです (ファイル アーカイブ)。
 このファイルのリストアについて IT 担当者にお問い合わせください。
ファイル [c:¥Data¥FileCopy-test1.txt] は 2016年5月21日 20:03:22 上の以下のファイル アーカイブ デスティネーションに移動されました。 クラウド デスティネーション URL: s3.amazonaws.com クラウド コンテナ: arcserve-udpv6-2dagent-2darchive2cloud1

この例では [タスク名] として「ファイル アーカイブ」として作成したプランに [タスク1:バックアップ エージェントベース Windows] が 追加されています。[タスクの追加] をクリックしファイルアーカイブ用のタスクを追加します。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポート	ログ設定	፤ ለተምላ-	イラビリティ	
プランの追加	ファイルアーカイ	Ť.		□このプランを一時停止	保存
タスク1: パックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類	バックアップ: エージ	コントベース Windows	-	
● タスクの追加	ソース	デスティネー	ション スケジュ・ 	-ル 拡張	
製品のインストール	復旧ポイントの信	呆存方法	復日ポイントによ	る保持	•

② [タスクの種類]として「ファイル アーカイブ」を選択します。

ダッシュボード リソース ジョー	ョブ レポート	・ ログ 設定 ハイアベイ	(ラビリティ
プランのコピー	ファイルアーカイ	7	日このプランを一時停止 保存
タスク1: パックアップ: エージェント 🥏 ベース Windows	タスクの種類 	 レブリケート	•
タスク2		1次想スタンハイ ファイル コピー ファイル アーカイブ	
 タスクの追加 		「東日ホイントのコピー リモート管理の RPS ヘレプリケート テーブへのコピー	

③ アーカイブの抽出対象となるフォルダを指定するため [ソースパスの追加] をクリックします。

プランのコピー	ファイルアーカイン	ÿ	□このプランを一時停止	保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類	ファイル アーカイブ		
タスク2 ファイル アーカイブ	ソース	デスティネーション ス	ケジュール	
● タスクの追加	 注: デステ 	ィネーションに正常にコピーされた後	ファイル アーカイブ ジョブがソース ファイルを削除	余します
製品のインストール	ファイル コヒー用 ●	の復日ポイントソース	タスク1: バックアップ: エージェントベース Winde	WS
	📄 Y-Z 7#1	네~네 15		

④ [ソースフォルダ] に抽出対象フォルダを指定します。この例ではアーカイブの抽出対象フォルダとして「C:¥Data」
 を指定しています。さらに抽出条件を指定するため [フィルタの追加] をクリックします。

-ス フォルダ	c:¥Data]	×
	注: すべてのシステム ファイル/フォルダはスキップされます。	
⊕フィルタの道	ebo Autor	
7		
1		
1		
]		
1		
<u></u>		
<u></u>		
」 注 D太と等し	、〈ない)/〔大を含まない] パターンは、〔大と等しい]/〔大を含む〕より	も優先されます。
」 注 Cがと等し イル サイズ フ	、人ない1/C大を含まない]パターンは、C大と等しい1/C大を含む]より: イルタ	も優先されます。

⑤ 追加されたフィルタ設定の [ファイルの種類]、[抽出条件]、[拡張子] をそれぞれ指定します。この例ではデフォルトの抽出条件を指定しているため、[ソース フォルダ] 内の全てのファイルがアーカイブ対象となります。

ファイルソース	を追加						×
各ファイル アーカイ: れる情報を決定し:	ブ設定には、ソー ます。少なくとも	-ス フォルダおよて 1 つのフィルタをう	びオブションのファイル 満たす場合、ファイル	/フォルダ フィルタがありま がデスティネーションにコト	す。ファイル/フォルダフィノ _ーされます。	ルタはコピーさ	^
ソース フォルダ	c:¥Data						
	注: すべての	システム ファイル	レ/フォルダはスキップさ	られます。			
⊕วส⊮รอบั	ithe Milli	8					
		17 17		1			
🗌 ファイルの	種類	▼ 次と等し	<i></i>	すべて (*; *,*)		~	
 注: D太と等 	し、ない]/D大を含	きまない]パター]	ンは、D大と等しい1/1	次を含む]よりも優先され	lます。		
ファイルサイズ フ	ィルタ						
ファイルサイズフィル	レタを使用すると - トスフィルタ	、ファイルのサイン	ズに基づいてコピーす	るソース データを指定お	よび制限できます。		
The House	-		hdp 🚽				~

⑥ ファイルサイズやファイル属性でフィルタ(抽出条件)設定を追加するには、下方に画面をスクロールして[ファイルサイズ フィルタ]、[ファイル経過期間フィルタ]を設定します。この例ではデフォルトの未設定のまま設定します。設定完了後[OK]をクリックします。

イル サイズ フィルタを使用すると、ファイルのサイズに	基づいてコピーする	ソース データを指定	目および制限できます。	
ファイル サイズによるフィルタ				
次より小さい 👻 🚺	4B 👻			
ノル 42 12世日日				
1ル経過期間フィルタ イルタ海期間フィルなた毎日オスト コッイルの経過	期間に基づいてつい	>_*กรุงเ_ว ≓.	- 方式地学会、トバタル限制である	±-7
17時生地系加加フォルメを使用すると、ファイルの注意	ANDICE JUICED	-01102-71-	- 次を18,200 の の ゆ かなし ら	9,20
シムの巣明日(一つちらつきわ オハキハラー ノル				
次の期間にアクセスされていないファイル	か月	w		
□ 次の期間にアクセスされていないファイル	か月 	*		
□ 次の期間にアクセスされていないファイル □ 次の期間に変更されていないファイル:	か月 か月	v		
 □ 次の期間にアクセスされていないファイル □ 次の期間に変更されていないファイル: □ 次の期間に作成されていないファイル: 	か月 か月 が月	v v		

 ⑦ [デスティネーション]をクリックし、[デスティネーションの種類] と [ストレージ サービス]を指定します。この例では [デスティネーションの種類] として[クラウド ストレージ]を選択し、[ストレージ サービス] として [Amazon S3]を選択しています。次に[クラウド ストレージ] への接続アカウントを入力するため [追加]をクリックします。

ダッシュボード リソース ジ	ョブ レポート ログ 設え	ጀ 📋 ለብ ፖላብንሮሀታብ	
プランのコピー	ファイルアーカイブ	□このブランを一時停止	保存
タスク1: バックアップ: エージェント 🔹 📀 ベース Windows	タスクの種類 ファイル アーカイ	ÿ 🚽	
ダスク2: ファイル アーカイブ	ソース デスティネー	ション スケジュール	
 	デスティネーションの種類	クラウド ストレージ	•
製品のインストール	ストレージ サービス	Amazon S3	*
	クラウド ストレージ		▼ 追加
	□ 圧縮を有効にする		
	□ 暗号化の有効化		
	保存期間	0 ~ 年 0 ~ か月	7 -

⑧ [ストレージ名] を入力し (この例では"aws-file-archive")、接続に必要な情報([バケットの地域]、[アクセス キー ID]、[シークレット アクセス キー])を入力します。[バケット名]欄に作成済の"バケット名"が読みとられ、入力した [バケット名] が存在しない場合は、その名称でバケットを新規作成します。設定完了後 [OK] をクリックします。

44 71		
var	ローカル サイト	
ストレージ名	aws-file-archive	
ストレージ サービス	Amazon S3	-
バケットの地域	AP_Tokyo	-
アクセスキー ID	ARCSERVEUDP V6	
シークレット アクセス キー	••••••	
□ プロキシ サーバを使用	して接続する フロキシ語 定	
バケット名	archive2cloud1	
	注: バケット名の先頭には次の文字が付されます「arcserve-「エージ	ェント ホストネ

 作成したクラウドストレージ設定(この例では"aws-file-archive")が追加されたことを確認し、アーカイブファイ
 ルの[保存期間]を確認します。デフォルトの保存期間ではアーカイブファイルはクラウドストレージ上に4年間保
 持されます。

プランのコピー	ファイルアーカイブ	□ このブランを一時停	⁵ 止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント ベース Windows	タスクの種類 ファイル アーカ	17 -	
<u> </u>	ソース デスティネ	ーション スケジュール	
● タスクの追加	デスティネーションの種類	クラウド ストレージ	-
製品のインストール	ストレージ サービス	Amazon S3	-
	クラウド ストレージ	aws-file-archive	→ jéhn
	🗌 圧縮を有効にする		
	日暗号化の有効化		
	保存期間		

① [スケジュール]をクリックし、アーカイブを実行する [スケジュールの種類]、[開始時刻]、[曜日]を指定します。
 アーカイブはタスク1のバックアップタスクと非同期で指定した時刻に実行されます。設定確認後 [保存]をクリックします。

ダッシュボード リソース ジ	ョブ レポート ログ 設定	ハイ アベイラビリティ
プランのコピー	ファイルアーカイブ	□ このブランを一時停止 保存
タスク1: バックアップ: エージェント 🛛 🥑 ベース Windows	タスクの種類 ファイル アーカイブ	
タスク2: ファイル アーカイブ	ソース デスティネーシ	コン スケジュール
	ファイルをコピーする ファイル コピー スケジュールの種類	● 毎日 ○ 毎月
製品のインストール	開始時刻	20 - : 00 -
		 ✓ 日曜日 ✓ 月曜日 ✓ 八曜日 ✓ 水曜日 ✓ 金曜日 ✓ 土曜日

① ファイルアーカイブに必要な設定(ソースフォルダ、クラウドへの接続、バケットへのアクセス可否など)を事前に
 確認します。事前の設定確認を行うには [はい] をクリックします。

確認			
?	ファイルコピー/ファイルアーカイブタスクに対してフレフライトチェックを実設定が確認されるため、ネットワーク帯域幅に応じて時間がかかる場合	ミ行しますか? 実行 があります。	テすると、すべての
		ttu	いいえ

12 作成したプランの [展開:成功] を確認します。

ダッシュボード リソース	ジョブ レポ・	-ト ロ	び 設	定	ハイアベイラビリティ	
	≪ プラン:す	べてのプ	ラン			
▲ ノード すべてのノード	アウション・ プランの追加					
プランのないノード		保護	ステータス			
▷ vCenter/ESX グループ	合計	o 0		0		
	1	0	1	0		
 3 スクイホーション (復日ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ クラウド アガウント 	Ĩ	0	1	0	● 展開: 成功(1)	
▲ 7ラン オペアのプラン						
▲ インフラストラクチャ ストレージ アレイ インスタント VM サイト						

③ この設定例では毎日20:00にアーカイブが実行されます。バックアップ取得済の場合は手動でアーカイブを実行することもできます。手動でアーカイブを実行するには [プラン] - [すべてのプラン]を選択し、ファイル アーカイブ
 タスクを含むプランの右クリックメニューから [今すぐファイル アーカイブ]を選択します。



⑭ アーカイブ タスクの内容を確認し [OK] をクリックします。

ランタスク	ソース	デスティネーション	
ネスク 2 ファイル ア	ーカイ ソース タスク・タスク 1 バックアップ: エージェントベース Windows パス: E¥UDP	[aws=file=archive]	

7. UDP コンソールを利用したクラウドストレージからのリストア

ファイルコピーまたはアーカイブされたファイルをコンソールからリストアします。コンソールからリストアする場合でも保護対象ノードにインストールされたエージェントに接続しリストアします。下図のように [プラン名] - [ノード名] と選択し、右クリックメニューで [リストア]を選択後は「4. Windows Agentを利用したクラウド ストレージからのリストア] 手順に従ってリストアします。

	≪ ノード:	ファイルアーカイブ			≫udpv6-agent	
▲ ノード すべてのノード	アクシ	ョン・ ノードの	追加	☆ 環境設定ウィザード		
プランのないノード		ステータス ノード	省	プラン	🗢 ステータス	e
▷ vCenter/ESX クループ		📀 udpy	/6-ærent ∓*r	ファイルアーカイブ	▽ 最新のジョブ (3スク別)	
▲ フラン クルーフ ファイルアーカイブ			更新			期間: 00:00:32
ファイルコピー ローカル サイトー新規のプラン		エクスポート プランの変更			▽ 最近のイベント	ログの表示
⊿ デスティネーション		14		-バイザの指定	🥝 バックアップ - 増分	2016/05/21 5:23:55
(復日ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ クラウド アカウント ノラウン	ł		エージェ エージェ ファイル 診断情	ント へのログイン ントのインストール/アップグレード コピー ブレフライト チェック 報の4双集	 ファイルコピーリストア ファイルコピー バックアップ - 増分 	2016/05/21 5:11:12 2016/05/21 5:06:17 2016/05/21 5:05:33
すべてのプラン インフラストラクチャ			今す(*) 今す(*)	、ックアップ ノフリケート		
ストレージ アレイ			今すぐこ	マイル アーカイブ		
インスタント VM			リストア			
<u> </u> ታ イト			インスタ	ント VM の作成		

8. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認 してください。

8.1. 製品情報および FAQ はこちら

Arcserve シリーズ ポータルサイト

http://www.Arcserve.com/jp/

動作要件

https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/204760116

注意/制限事項

https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/207679086

その他、技術情報など(エラー、情報、パッチダウンロード)

https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/categories/200180285

マニュアル選択メニュー:

http://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V6/JPN/Bookshelf.html

8.2. 無償トレーニング情報

どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。(競業他社の方はお断りしております。)

http://www.Arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx